

令和 6 年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 みどりの風	代表者	小島 健一	法人・ 事業所 の特徴	住み慣れた地域でご利用者がいつまでも生活ができるように、通い・泊り・ 訪問を柔軟に組み合わせて支援しています。 「日和」の周辺には田んぼや畑が多く直売所も近くにありご利用者と職員が 一緒に利用するなど、地域の方とのつながりが持てるようにしています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 日和 （ 緑区 ）	管理者	代永 美菜		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1 人	2 人	1 人	人	1 人	人	3 人	人	8 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	・毎月会議で事業所自己評価の 振り返りを実施する。	・今年度も事業所自己評価の進捗状 況をミーティングで確認をしたこ とで、スタッフの意識は高まったと 思う。	・『良くしていこう』という気持 ちが理解できる。理想と現実の ギャップがある中で少しずつ改 善に取り組んでいると思う。	・事業所自己評価の改善計画につ いて、ミーティングで振り返りや 行い、年間を通して実践する。
B. 事業所の しつらえ・環境	・できる範囲で通いの利用者と 職員とで、外でお茶を飲むなど して、地域の方が声をかけやす い環境を作る。	・防犯対策として日中夜間共に鍵をか け夜間は警備もかけているため、入り にくい環境にならないように、駐車場 でお茶を飲んだり、開放的な雰囲気 を作った。近所の方から話をしてくれ ることも増えている。	・広報誌等での活動写真も本人 家族へ周知できる機会となってい る。 ・季節や行事に合わせた室内の 飾り物など居心地の良い空間作 りに努力されている。	・近くの公園など屋外で過ごす時 間を作り、地域の方が声をかけや すい環境を作る。
C. 事業所と地域の かかわり	・防災訓練や炊き出しなど事業 所で行い、地域の方にも参加し ていただく。	・消防団の方との共催で地震車の体 験会を開催することができた。地域 の方も参加していただいた。	・運営推進会議などで訪問した 際、スタッフの皆さんが気持ち よく挨拶をしてくれる。	・地域行事への参加を通して日和 の周知を行う。 ・消防団の方に協力していただ き、防災イベントを実施する。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	・近所を散歩されている高齢者 等へ声をかけて、必要があれば 地域包括支援センターなど関 係機関へつなげる。	・地域の方との関わりは作れたが、 包括支援センターへつなげるケー スはなかった。	・地域で気になる高齢者等へ声 をかけたりしている様子なの で、今後も声をかけて必要があ れば介護事業所につなげられた ら良いと思う。	・ご利用者の地域の掲示板など情 報を確認し可能であれば防災訓 練等へ参加していただく。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	・地域での活動や困りごとなど 日頃から情報収集して、運営推 進会議で情報提供したり、情報 収集して日和の活動範囲を広 げる。	・地域の心配な方等の情報を共有す ることができた。 ・日和での事故報告について改善案 な意見をいただき、活用できた。	・会議の中で毎回わかりやすく 説明いただいて、質問意見も発 言しやすくその中で地域の方か らいろいろな意見もでている。	・事故報告等でのご意見を参考 に、PDCAサイクルで評価を行 い、同じ事故が発生しない仕組 みを作る。

F. 事業所の 防災・災害対策	・防災訓練や炊き出しなど事業所で行い、地域の方にも参加していただく。	・防災訓練を行い大半の職員は参加できた。各自災害にあった時に即座に対応できる状態でないため、引き続きBCP研修も含め訓練を行う。	・炊き出しなど大がかりなものはハードルが高いので、まずは簡単にすぐできる災害時の食器の使い方など訓練してみてはどうか。	・炊き出しの訓練など室内でもできることから始める。
--------------------	------------------------------------	--	---	---------------------------